



健康と温泉フォーラム 第32回月例研究会のご案内

- 主催 NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会
- 日時 2012年11月26日(月)13:30~16:30(受付 13:00 から)
- 会場 上野・東京文化会館4F 中会議室

東京都台東区上野公園5-45 TEL 03-3828-2111 JR 上野駅公園口出て正面すぐです。

■テーマ「経営学から見た旅館経営・温泉地経営」

関口 陽一(日本経済研究所調査本部公共マネジメント部研究主幹)

■討議内容

先月 10 月29日、30日の両日、新潟県越後妻有で開催されました温泉里山アカデミーでは、温泉医学、温泉行政、温泉産業、温泉文化の温泉に関する温泉人(温泉専門家)が全国から30名、地元松之山温泉から10名の温泉人が参集し、日本の温泉の現状と改革への課題を多面的に討議いたしました。各レクチャーはそれぞれ哲学的、思想的なレベルの高い講話が続き、近代という時代の終焉。そこに残った、あるいは多様化された文明社会の成熟と歪な消費社会構造。そして生命多様性こそ、生命や生命行為の豊かさの証明で、温泉あるいは温泉地はその生命再生装置としてポスト近代という時代に大きな役割があるのではないだろうか？

一方、3. 11の大災害、そして原発事故とつづく地域崩壊の現実と、生活や生命を個人の壁(境界)を超え、相互に共有、共感しあう本来人間が持ち合わせた、空間(場)の共存という概念。そうした広い社会概念の中で生命再生の場としての温泉と温泉地のあり方が真剣に討議されました。これら、延べ8時間に渡る討議は、ある意味では哲学的な思想の場から具体的な旅館経営の実態とその経営改善ま

で網羅され、限られた時間の中でどこまで深掘りされ、核心に近づいたのか公式会議録の編集後、あらためて皆様と一緒に思考してみたいと思います。(来年頭に公表予定)

さて、今月の月例研究会はこの温泉里山アカデミーで、戦後の温泉産業を経営学から分析した異色の発表と注目され、より広く温泉関係者にも聴講する機会をとの声に基づき、日本経済研究所調査本部公共マネジメント部研究主幹の関口陽一講師による「経営学からみた旅館経営・温泉地経営」を改めて月例研究会で発表いただくことになりました。温泉里山アカデミーでは時間の制約があり、十分に講師の意図した内容が伝わらないとのご意見もあり、今回は要約ではなく、その本編と付帯資料をじっくり聴講することになりました。特に全国の旅館の経営実態に迫る、貴重な統計資料からみた、中規模旅館(50室前後)の厳しい実態が明らかになり、戦後の団体旅行から個人客への市場に取り残された大型温泉旅館の顛末やいまだ続く温泉旅館の廃業、資本理論と地域伝統社会の葛藤など温泉旅館と温泉地経営の実態を統計資料から分析いただく予定です。ご期待ください。



■ プログラム

「経営学から見た旅館経営・温泉地経営」

関口 陽一(日本経済研究所調査本部公共マネジメント部研究主幹)

- 1300 受付
- 1330 コーディネーター・背景説明
- 1340 講演
- 1500 休憩
- 1515 ディスカッション
- 1630 終了

- 参加費 健康と温泉フォーラム・日本スパ振興協会・地域活性学会会員 2000 円
一般の方 3000 円
報道関係者・学生 無料

(当日会場受付で承ります)

■ お申し込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mail またはFAXにてお申し込み下さい。定員先着順40名とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

NPO 法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 第32回月例会(2012年11月26日(月))に出席します。

● お名前
(複数可)

● 団体名

● 住所

● TEL

● FAX

● E-mail

- 12月の月例研究会は12月10日(月)午後1時半より同会場でNGO健康都市連合事務局長、東京医科歯科大学国際保健医学協力学准教授の中村佳子先生による「温泉と健康都市」(仮タイトル)を予定しています。